

## 愛知

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
甚目寺町	くすのき		きく		町の木:くすのき(昭和57年6月21日制定) 四季を通じて緑が豊かで、特に春の芽だしが美しい木です。緑につつまれた美しい町に、との願いが込められて選ばれました。 町の花:きく(昭和57年6月21日制定) 緑と自然を愛する心を育て、豊かな情操をつちかうために、明るく住みよい町にふさわしい花として選ばれました。	2007/10/29
豊川市	クロマツ		サツキ			2007/10/29
阿久比町	もちのき		うめ			2007/10/29
大府市	クログネモチ		クチナシ		市の木「クログネモチ」 昭和45年9月1日、大府市の誕生を記念して、市民投票により決定したものです。 市の花「クチナシ」 昭和50年9月1日、市制50周年を記念して、市民投票により決定したものです。	2007/10/29
北名古屋市	もくせい		つつじ			2007/10/29
高浜市	クスノキ		キク			2007/10/29
豊根村	とちのき		すいせん			2007/10/29
北名古屋市	モクセイ		ツツジ		選定理由 【モクセイ】 秋の青空のもと香り高い星のような小さな花を咲かせるモクセイは、市内に多く植栽されて市民になじみ深く、すがすがしい心豊かな北名古屋市のシンボルツリーとしてふさわしい。 【ツツジ】 春の暖かい日ざしのもと色とりどりの花をつけるツツジは、広く市民に親しまれており、北名古屋市の明るい未来を象徴する花としてふさわしい。	2007/10/29
田原市	くすのき		菜の花		「うるおいと活力のある田園共生都市(ガーデンシティ)」 長命でグングンと大木に育つ「くすのき」と、春の訪れを知らせてくれる「菜の花」は、渥美半島の風土に適した田原市のシンボルです。	2007/10/29
瀬戸市	クログネモチ		ツバキ		クログネモチ:別名「福来 柴(ふくらしば)」とも呼ばれ、モチノキ科に属する縁起の良い木です。常緑樹で雌雄異株で雌株は赤色の実をつけます。成長すると高さは10～15mに達します。また、この木は尾張藩の時代に藩主が奨励したことから、この地方にもたくさんの大木があります。 ツバキ:市内にも多く自生していて、園芸品種も多く、栽培はやさしいとされています。鎌倉から室町時代にわたって陶器の「灰ゆう」として用いられたと思われ、瀬戸市の窯業とも関係が深いとされています。	2007/10/30
日進市	金木屋 (キンモクセイ)		紫陽花(アジサイ)			2007/10/30
小坂井町	もくせい		さつき		町制施行50年記念事業の一環として、小坂井町民憲章等制定審議会が町民からの投票により、昭和50年10月1日に選定しました。	2007/10/31

設楽町	ブナの木		シャクナゲ		町の木「ブナの木」 愛知県内で随一の規模を誇る段戸裏谷や面ノ木の原生林に自生し、わが町の豊かな自然環境を象徴する樹木です。	2007/10/31
					町の花「シャクナゲ」 町の中に、ホンシャクナゲとホソバシャクナゲの2種が分布するのは珍しく、可憐で美しい薄ピンク色の花が特徴です。	
知立市	けやき		かきつばた		【けやき】 亭々とそびえる雄々しさからは、他の樹木を圧倒する気迫が感じることができ、知立市の発展を象徴するものです。	2007/10/31
					【かきつばた】 「伊勢物語」の中で在原業平が三河八橋においてめでたゆかりの花。「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の句は在原業平が「かきつばた」の5文字を句頭に詠んだもの。	
					昭和48年8月、市民からの公募によって決められました。	
三好町	ミカワクロマツ		サツキ		昭和48年に三好(みよし)のシンボルとして、大空に向かって力強く伸びる「ミカワクロマツ」を町の木に選定。以来、発展を続ける三好の象徴として愛されています。	2007/11/2
					また同時に、昔から町民に人気の高い「サツキ」が町の花として選ばれ、毎年6月ごろにまちを美しく彩ります。	
尾張旭市	くすのき		ひまわり		尾張旭市は、「緑と太陽にめぐまれた豊かな公園都市」をスローガンに、人・緑・水の調和したまちづくりを推進しています。	2007/11/3
					市の木「くすのき」は、昭和45年に市制施行を記念して制定。	
					市の花「ひまわり」は、昭和55年に市制施行10周年を記念して制定。	
岡崎市	ミカワクロマツ		フジ		ミカワクロマツ： 西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多く、ミカワクロマツはこれらを称賛してつけられた名です。典型的なものは、幹が樹木の高さに比べ、太く、根本から徐々に細くなり、樹皮が厚く、亀の甲のように深い裂目を生じています。古くから縁起の良い樹木として知られており、代表的なものには福岡 町、土呂神社の松があげられます。	2007/11/5
					フジ： 市内にあるフジとしては岡崎公園の西南部、菅生川を臨む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名です。昭和38年に市の天然記念物に指定、棚は1300平方メートルの面積になり、最大のフジは幹回り2.4メートル、枝は11メートル、花穂が1メートルに達するものもあります。	
南知多町	うばめがし		すいせん		町の木 うばめがし 昭和51年6月1日制定 ブナ科の常緑樹。羽豆岬一帯では、このうばめがしが群生し、樹木のトンネルのような奇観を呈し、国の天然記念物に指定されています。	2007/11/6
					町の花 すいせん 昭和51年6月1日制定 ヒガン花科の多年草で12月から3月にかけて開花し芳香を放つ。町の海岸で自生しているが、観賞用にも栽培されています。	
飛島村	桜		菊			2007/11/9
半田市	黒まつ		サツキ			2007/11/12

春日井市	けやき		さくら		市の木「けやき」(昭和43年12月 議会で議決) 大空に向かって伸びる「けやき」の生きる力とたく ましさ、将来に向かって成長する「春日井市」の 無限の可能性を象徴しているとして「けやき」を市 の木としました。	2007/11/19
					市の花「さくら」(昭和48年5月 議会で議決) 市制30周年を記念して、市章の外わくに使われ ている「さくら」を市の花としました。	
清須市	花水木 (ハナミズキ)		桜			2007/11/21
清須市	花水木 (ハナミズキ)		チューリップ			2007/11/21
七宝町	松		水仙		昭和51年の町制施行10周年を控えた昭和50年11 月、町議会議員、教育委員、農業委員、各小中学 校の校長先生を始めとする委員からなる「七宝町 緑化推進協議会」が設置され選定 が進められまし た。県内の各市町村の木と花などを参考にしなが ら5種類の木と花が候補として選ばれ、そのなか ら町民の皆さんによる選定で最も多かった「松」と 「水仙」を町の木・町の花とすることが昭和51年1 月26日に制定されました。	2007/12/28